

## 平成30年度 江東区登録文化財

### 清澄園記碑・海苔生産用具及び 関連資料を登録文化財に

平成30年度は有形文化財(歴史資料)1件および有形民俗文化財1件を登録しました。  
登録されたのは、「清澄園記碑」と「海苔生産用具及び関連資料35点」です。

**有形文化財(歴史資料)**  
清澄園記碑  
(清澄3 清澄庭園)

**有形民俗文化財**  
海苔生産用具及び  
関連資料35点  
(東陽4)



29) 9月に建設されました。碑文には、岩崎彌太郎による園地の購入、庭園が整備されていた変遷などが記されており、清澄庭園の歴史の一端をうかがうことができます。

海苔生産用具及び関連資料は、区内にあった漁業協同組合の組合員が、昭和37年(1962)に漁業権を放棄する以前に使用していたものです。江東区

の海苔養殖は、明治10年代(1877)に始められたと考えられ、消費の拡大とともに一大産業に発展しました。しかし、その後の水質汚染や沿岸部の埋立てなどで漁業権の放棄を余儀なくされました。今回の資料は、江東区における海苔養殖の歴史、ひいては江戸前の海を語るうえで欠かすことができないものです。

文化観光課文化財係

☎(3647)9819  
FAX(3647)8470

## 新刊案内 絵葉書で見る江東百景 震災復興―関東大震災―

本書は、教育委員会が収集した戦前の絵葉書を用いて、江東区の近代の景観を知っていただくシリーズの第3集です。

今回は、関東大震災とその復興に関わる絵葉書(清洲橋・永代橋・黒亀橋・越中島・



絵葉書で見る江東百景 震災復興

## 中学生放送研究会 参加グループ募集

### 仲間と作ったラジオ番組を レインボータウンFMで放送

中学生が自分たちでラジオ番組を企画・制作し、FM局で放送する「中学生放送研究会」の参加生徒を募集します。

これは、ラジオ番組の企画・取材・収録などの経験を通じて、区政や自分たちのまちに関心をもってもらおうという区の取組みです。中学生が人と話すことの楽しさや、自分の考えを伝える大切さに気づくきっかけにもなります。制作した番組は、レインボータウンFM(88・5MHz)の日曜日の区提供番組(ラジオこうとう・午前10時～10時20分)で放送されます。収録の際、レインボータウンFMの木場スタジオで、普段触れることのない機材を扱ったり、他の生放送や収録を間近で見たり

取組むことができます。  
活動日 平日の放課後や休日計5時間程度 数日に分けても可  
区内の中学校に通う中学生によるグループ12組(申込順)  
※1グループ3～5人程度が目安。学校(公私立)・学年・番組テーマは不問。学校をまたがるグループも可  
費用 無料  
5月17日(金)から申込用紙(区ホームページから入手可)に必要事項を記入し、ファクスで広報広聴課報道係またはレインボータウンFMへ※区ホームページからも申込できます  
広報広聴課報道係  
☎(3647)8589  
FAX(5634)7538  
レインボータウンFM(株)  
☎(5857)5671  
FAX(5857)5670

## 男の60代からのきっかけ作り

### 定年後も、より充実した人生を送るために

家庭や地域活動に活かせるコミュニケーション術、簡単でおいしい料理術、部屋も心もスッキリ片づけ術を全3回の講座で

学びます。同年代の仲間と語り合いながら楽しく学びましょう。

時 6月11日(火)・19日(水)・25日(火)(全3回) 午前10時～正午(6月19日のみ午後0時半まで)  
場 男女共同参画推進センター3階第1・2研修室、調理実習室(扇橋3-22-2パルシェイ江東内)  
人 60代以降の男性24人(申込順)  
費用 500円  
師 坊隆史(東洋学園大学人間

☎(3647)9819  
FAX(3647)8470

## 一年生になったら 6

### ～来年は小学生～

年長になると「来年は小学生、どんな準備をしたらいいの」という会話が自然と増えてくるかと思いますが、今のうちにできることをやっておきたい親心、でも何をすれば?と不安が増す時期です。

そこで、小学校に入学するまでにじっくりゆっくり家庭で育てておきたい「根っここの力」について今回はお話ししましょう。

#### ①やる気

今、我が子が何かに夢中になっている姿によく目を向けてみてください。

好きなことに没頭するなかで、こどもはそれぞれ個性的に考えて工夫する力を自らの中に伸ばしていきます。そこを見とって、さりげなく、「ほめる」ことが大切です。

「すごいね、そんなこと考えたんだ!」。見守っている親の愛を感じることが、こどもの安心感と「やる気」を育てます。これは学校での勉強場面に必ず活かせる「根っここの力」です。

#### ②聴く・訊く力

例えば絵本の読み聞かせにじっと耳をすます「聴く力」、あるいは、自分にわからないことは「教えて!」と言える小さな勇気「訊く(たずねる)

力」です。

#### ③思いやりの心

例えば隣の子が消しゴムを忘れて困っていたらさりげなく貸す子になってほしいと親は思います。

「二年生になったら何でも自分でやらないと!」と張り切りすぎず、困ったら誰かに頼っていいし、また頼られてもいいのです。助け合って声かけ合って!この心をもつことが大切です。

いかがでしたか。今回の3つの力を意識することで、親も子も「保幼小接続期」を、楽しく期待を持って乗り越えられると思います。

地域教育課社会教育担当  
☎(3647)9676  
FAX(3647)9274